2026年11月9日

各　位

会 社 名　　神 田 通 信 機 株 式 会 社
代表者名　　代表取締役社長　神 部 雅 人
（コード番号：１９９２　東証スタンダード市場）
問合せ先　　執行役員管理本部長 永 芳 淳 二
電話番号　　（０３）３２５２－７７３１

2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2026年5月11日に公表いたしました2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。
なお、2027年3月期通期連結業績予想および期末配当予想に変更はございません。

記

１．2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異
（2026年4月1日～2026年9月30日）

（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前 回 予 想　（A）	3,300	150	190	120	52円64銭
実　　績　（B）	3,204	185	232	80	35円31銭
増 減 額　（B－A）	△96	35	42	△40	
増 減 率　　（%）	△2.9	23.5	22.1	△32.6	
（ご参考）前期第2四半期実績（2026年3月期第2四半期）	3,031	171	215	227	99円66銭

２．差異の理由

2027年3月期第2四半期（中間期）の業績につきましては、売上高は概ね計画どおりに推移いたしました。利益面につきましては、以下の要因により、営業利益および経常利益は前回予想を上回った一方、親会社株主に帰属する中間純利益が前回予想を下回りました。

(1)事業構造改革に係る費用の未執行

当社グループは、中期経営計画に掲げる事業構造改革の一環として、中核人材の確保・育成をはじめとする人的投資や、事業競争力の強化に向けた開発投資を進めております。当中間期におきましては、各施策の内容の精査および投資効果を高めるための実施時期の見極めに想定以上の時間を要したことから、当中間期に計画しておりました関連費用の多くが未執行となりました。

(2)連結子会社における売上原価率の低減

子会社における売上原価率の低減が進んだことにより、売上総利益が増加し、営業利益の押し上げ要因となりました。

(3)特別損失の発生

現在実施中の旧本社ビル解体工事において、想定外の地中障害物が多数発見されたこと等により、当初の見積りに対して大幅な追加工事および工法の変更が必要となりました。これに伴い、解体関連費用 78 百万円を特別損失として計上し、その他の特別損失と合わせた当中間期の特別損失は 83 百万円となりました。

通期連結業績予想につきましては、下期の事業環境等を慎重に見極める必要があることから、2026 年 5 月 11 日に公表した予想を据え置いております。

（注）上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績等は、今後様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

以　上